対象：幼児期（４～６歳）の子どもをもつ保護者

時間：４５～６０分程度

|  |  |
| --- | --- |
| ねらい | * 親子で楽しい時間を共有し、親子の絆を深める手段の一つとして「読み聞かせ」があることを

理解する。* 図書館を利用してみようという気持ちをもつ。
 |
| 実施のポイント（評価など） | * 子育てで必要な子どもへの声かけ・ふれあいの一つとして「読み聞かせ」があり、親子で楽しい

時間を共有する大切さを理解することができる。* 子どもと本を通して楽しい時間を共有しようという気持ちをもつことができる。
 |
| 事前準備 | ○　あらかじめ４人のグループに分かれておく。○　筆記用具　〇　ワークシート　〇　アンケート用紙（必要に応じて）○　資料　　　〇　付せん紙（青・黄）　　　〇　模造紙　　〇　ペン　　〇　名札○　参加者の子どもが興味をもちそうな本　　　　　○　図書館利用案内○　おすすめ図書一覧（参加者の身近な図書館が発行しているもの）○　図書館イベント情報（参加者の身近な図書館が発行しているもの） |
| 時　間 | 学習活動 | 学習活動のねらい（◎）とポイント（・） | 準備物 |
| **導 入**5～10分 | ・ワークの趣旨説明・３つの約束・アイスブレイク（自己紹介） | ・参加者自身の幼い頃の読み聞かせの経験や現在の読書実態　等を自己紹介に取り入れ、プログラムのテーマに関心を引き寄せたり、グループの中の役割を決めたりする。 | 名札３つの約束 |
| 10分**展 開** | **ワーク１**・エピソードをもとに、グループで話し合う。 | ◎子どもへの読み聞かせで困った経験があることを共有する　ことをねらいとする。・エピソードをもとに、どんな声かけをするか話し合う。・共感しながら聞くことで、読書傾向や読み聞かせで困った　ことを発言しやすい雰囲気を作る。 | ワークシート |
| 20～25分 | **ワーク２**・「困ったこと」「良かったこと」について、グループで話し合う。・乳児期の読み聞かせのポイントを知る。 | ◎子どもへの読み聞かせで困ったことや良かったことを話し　合う中で、幼児期では親子で楽しい時間を共有する大切さを理解することをねらいとする。・「困ったことや気になること」を付せん紙（青）に、「良かったこと」を付せん紙（黄）に個人で書き出す。・グループ内で、模造紙に付せん紙を貼り付けながら、困っ　たことに対してどう対応をしているか話し合う。・資料１をもとに、困ったことへの対応（同じ本でも大丈夫、　物語にこだわらなくてよいこと、就寝前でなく親子の時間　が取れるときでよいこと等）を確認し、幼児期の読み聞かせは親子で楽しい時間を共有することが大切であることを理解する。・資料２をもとに「読み聞かせの大切さ」にふれる。ただし「やらないといけない」という押しつけにならないように注意する。 | 付せん紙（青・黄）模造紙資料１資料２ |
| ５～10分 | **ワーク３**・読み聞かせの疑似体験をする。 | ◎子どもに対して読み聞かせを「やってみよう｣ という気持　ちを高めることをねらいとする。・「ファシリテーターが参加者へ」または「グループごとに代　表が」読み聞かせをする。・読み聞かせについて感想を交流する。・図書館等、絵本と出会える場所を紹介する。 | 参加者の子どもが興味をもちそうな本 |
| ５分**まとめ** | **ふりかえり**・気付いたことや感想を記入する。 | ・絵本の読み聞かせは義務的にするものではなく、親子で絵　本を通じて一緒に遊んだり、リラックスしたりする過ごし方の一つとして行ってほしいこと、本を一緒に読むだけでなく実体験との呼応が大切であることを伝える。・親子で過ごす楽しさや経験が、子どもが中高生に成長した　ときも親子の絆として残ることを伝える。・図書館利用を呼びかける | ワークシート図書館利用案内や本の紹介、イベント情報等 |